

動物愛護対策費について

生活衛生課

1 事業の目的

秋田八幡平クマ牧場の事故の発生に伴い、地元住民の不安解消と動物愛護の観点から、緊急避難的に非常勤職員3名を採用し、施設の安全点検やクマへの給餌等を行うものである。

2 事業の概要

- 6月4日から県職員の立ち会いのもとで施設の安全点検やクマへの給餌等を行っている非常勤職員については、阿仁熊牧場などからクマを受入れる意向が示されていることから、10月まで雇用することとする。
- なお、6月9日に元経営者が逮捕され、管理者が不在となっていることから、現行の派遣体制を見直し、1週間を通じて施設の管理等を行うこととしている。

○ 補正予算の内訳	(4,946千円)
・ 非常勤職員の報酬 (3人×5ヵ月)	4,087千円
・ クマ用餌代	191千円
・ ガソリン代	312千円
・ 消耗品 (クマ用スプレー等)	232千円
・ 高速道路使用料	124千円

○ 職員の派遣体制

【6月4日～16日】	【6月17日～】
月、水、金 (県職員1名+非常勤3名) 清掃、給食残食回収、給餌	月、水、金 (県職員1名+非常勤3名) 清掃、給食残食回収、給餌
火、木 (県職員1名+非常勤3名) 清掃、施設管理	火、木 (県職員1名+ <u>非常勤2名</u>) 清掃、施設管理
	<u>土、日 (県職員1名+非常勤1名)</u> 施設管理

3 予算額

4,946千円

(参 考)

秋田八幡平クマ牧場の対応について

1 これまでの経緯について

- ・ 4月20日：事故の発生（場内に逃げ出したクマにより従業員2名が死亡）
- ・ 4月21日～27日：特定動物飼養許可施設（9カ所）の緊急調査を実施（逸走等の危険箇所がないことを確認）
- ・ 5月1日～4日：アライブ調査員が県職員立ち会いのもと牧場の調査を実施
〔調査の結果、「個体の年齢・性別・入手元に関する情報がない」、「クマたちの多くは痩せてはいない」、「繁殖制限に取り組む必要がある」、「給餌場であるバックヤードは錆の浸食によって安全性が問われる箇所が見られた」などの見解が示された。〕
- ・ 5月7日：緊急避難的な対応として県職員の派遣を開始
：元経営者から秋田県知事あての支援要請文書を受理
：全国の7クマ牧場へクマの引受けを依頼（～5／8）
〔事故後、元経営者が一人で給餌作業をしていることから、地元住民の不安解消を図るとともに給餌の確認のため、県動物管理センターの職員等の派遣を開始した。〕
- ・ 5月16日：小松獣医師による現地視察（個体識別や飼養管理に関する技術的助言）
：日本動物園水族館協会を通じて全国86動物園にクマの引受け等の協力依頼
- ・ 5月23日：全国の7クマ牧場に引受けについて文書による再依頼
- ・ 5月28日～6月2日：立入検査を実施
〔立入検査（5／28、5／30、6／1、6／2）の結果、クマが逃げ出した原因は施設の不備などによるものではなく、2号クマ舎北西角に残された雪山によるものであったことなどを確認した。〕
- ・ 6月4日：非常勤職員による給餌作業等の開始（月～金曜日）

【5／7～6／1】

県職員（獣医師）

3～4人



【6／4～】

県職員（獣医師） 1人

非常勤職員 3人

- ・ 6月7日：動物取扱業（展示）の廃業届出の提出を受理
：日本動物園水族館協会からクマの受入れを検討する意向を示している施設の情報提供

【受入れ検討の状況】

- ① かみね動物園（茨城県日立市）：
ツキノワグマの若いオス1頭ならば受入れ可能
- ② わんぱくこうちアニマルランド（高知県高知市）：
2才のツキノワグマ2頭のうちメスならば1頭の受入れを検討
- ③ 東武動物公園（埼玉県宮代町）：
純血エゾヒグマのメスがいれば受入れを検討

※ 宇都宮動物園については、受入れを6月7日に断念。

- ・ 6月9日：元経営者が業務上過失致死容疑で逮捕
（地元住民の不安解消を図るため、直ちに職員2名を牧場に派遣）
- ・ 6月11日：日本動物園水族館協会に、新たな情報を追加した個体識別表を送付
- ・ 6月12日：阿仁熊牧場がツキノワグマの受入れを表明

〔 北秋田市長が「阿仁熊牧場でツキノワグマ6頭の受入れが可能である。ヒグマについても引き続き検討したい」旨発表した。 〕

2 個体識別情報について

- 27頭のクマの個体識別情報については、5月21日までに取りまとめたものを公表しているが、それ以降、県職員の観察等による性別や推定体長・体重の確認、元経営者からの聞き取り等により年齢や出生情報などを追加した個体識別表は別添1のとおりとなっている。性別不明の5頭については、引き続き観察を行いながら把握することとする（現時点での「クマの飼養場所」は別添2のとおり）。

3 今後の対応について

- クマの受入検討についての意向を示している牧場や動物園と、今後、受入れに向けた移送の方法や時期など具体的な条件について協議を行うこととしており、1頭でも多く引き受けていただくよう働きかけを強めていく。
- なお、残されたクマの取扱いについては、国との協議のほか、動物愛護団体である地球生物会議（アライブ）、日本熊森協会、秋田県獣医師会等と連携を密に取りながら対応していく。

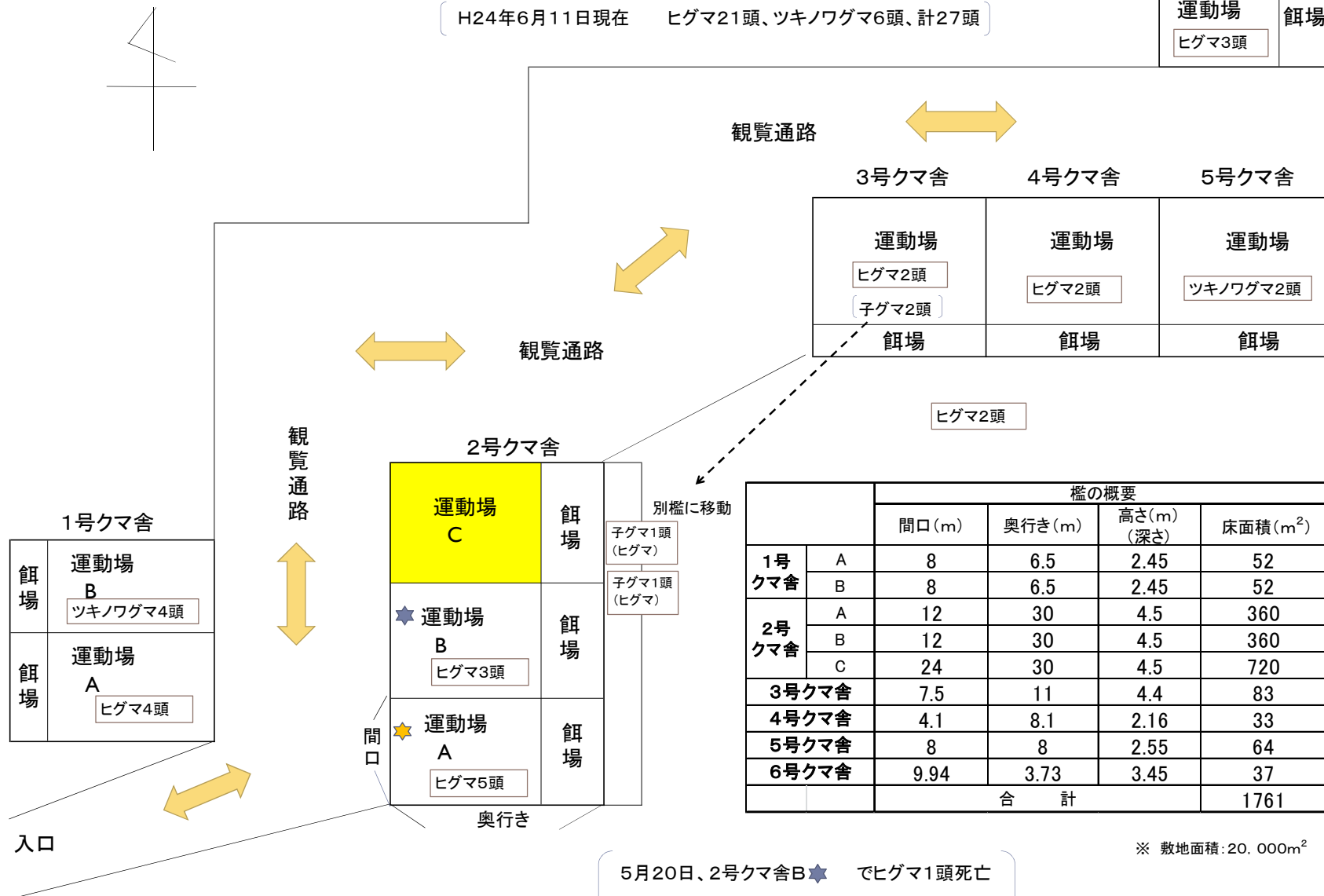
別 添-2

秋田八幡平クマ牧場の概要

〔 H24年6月11日現在 ヒグマ21頭、ツキノワグマ6頭、計27頭 〕

6号クマ舎

運動場	餌場
ヒグマ3頭	



5月20日、2号クマ舎B★ でヒグマ1頭死亡

5月26日、2号クマ舎A★ でヒグマ1頭死亡

※ 敷地面積: 20, 000m²

秋田八幡平クマ牧場の「個体識別表」の概要（ヒグマ21頭、ツキノワグマ6頭 計27頭）

平成24年6月11日現在

個体No.	名称	種類	性別	推定 年齢	推定 体長 (cm)	推定 体重 (kg)	外見上の特徴	健康状態 (望診)	飼養保管の開始・終了		備 考
									年月日	事由	
1号クマ舎A-1		ヒグマ	♂	7才	150	140	(大) 両目の間に傷	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子
1号 " A-2		ヒグマ	調査中♀?	7才	140	130	(中) 下唇が出る	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子
1号 " A-3		ヒグマ	調査中♂?	7才	140	130	(中) 鼻にM字の傷	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子
1号 " A-4		ヒグマ	♀	7才	130	120	(小) 唇をチュパチュパ鳴らす	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子
1号クマ舎B-1	ムサシ	ツキノワグマ	♂	8才	110	70	下顎に白斑、右斑紋下に脱毛	異常なし	H20.12.9	～ 有害駆除	H17.10.21秋田県鹿角市から搬入
1号 " B-2	ゴロ	ツキノワグマ	♂	8才	110	60	両目の間にイボ、下顎に小白斑	異常なし	H20.12.9	～ 有害駆除	H17.10.21秋田県鹿角市から搬入
1号 " B-3	タロー	ツキノワグマ	♂	7才	110	60	両目の間に縦の傷、顎に白斑なし	異常なし	H20.12.9	～ 有害駆除	H18.11.6秋田県鹿角市から搬入
1号 " B-4	タカコ	ツキノワグマ	♀	調査中	100	50	体格小、耳が丸い、人慣れしない	異常なし	H21/秋	～ 負傷保護	H21秋田県大館市から搬入（グループ中の劣位?）
2号クマ舎A-1		ヒグマ	調査中♂?	調査中	170	160	全体茶色、下唇が尖って出る	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
2号 " A-2		ヒグマ	♀	調査中	160	150	左耳なし、台の上にいることが多い	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
2号 " A-3		ヒグマ	調査中	調査中	160	150	全体茶色	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
2号 " A-4		ヒグマ	♂	調査中	170	170	黒っぽい、左もも毛薄い	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
2号 " A-5		ヒグマ	調査中	調査中	150	140	黒っぽい、体格やや小	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
2号クマ舎B-1		ヒグマ	♂	調査中	170	160	黒色、体格大、右犬歯出る(歯槽膿漏)	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
2号 " B-3		ヒグマ	♂	調査中	160	150	顔茶色・丸い	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
2号 " B-4		ヒグマ	♂	調査中	160	150	茶色、受け口、前肢爪白色	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
3号クマ舎-1		ヒグマ	♂	調査中	230	270	体格大	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
3号 " -2		ヒグマ	♀	調査中	180	200	体格大	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	
別檻 " -1	A子グマ	ヒグマ	♀	1才	60	14	全体灰色帯びる<体長60cm,14kg>	異常なし	H24.1	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子 H24.5.25MC
別檻 " -2	B子グマ	ヒグマ	♀	1才	55	12	首周り白色の毛<体長55cm,12kg>	異常なし	H24.1	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子 H24.5.25MC
4号クマ舎-1	ビック	ヒグマ	♂	4才	150	130	やや受け口	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子
4号 " -2	ケイコ	ヒグマ	♀	4才	140	120	全体グレー、首に白く襟巻き模様	異常なし	H20.12.9	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子
5号クマ舎-1	あいち	ツキノワグマ	♀	2才	90	30	胸の斑紋が長い、よく万歳する	異常なし	H22.10.28	～ 有害駆除	H22.10愛知県豊田市から搬入
5号 " -2	とよこ	ツキノワグマ	♀	2才	90	30	胸の斑紋が狭い	異常なし	H22.10.28	～ 有害駆除	H22.10愛知県豊田市から搬入
6号クマ舎-1	イチロー	ヒグマ	♂	3才	130	100	(大) き甲部やや高い	異常なし	H21.1	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子
6号 " -2	ゴロー	ヒグマ	♂	3才	120	90	(中)	異常なし	H21.1	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子
6号 " -3	コイタロー	ヒグマ	♂	3才	120	80	(小) 内斜視	異常なし	H21.1	～ 牧場内出生	「3号クマ舎-1」と「3号クマ舎-2」の間の子

※表中の「網掛け箇所」は、5月21日以降、新たに確認した性別、年齢、推定体長、推定体重、出生等の情報である。

※ツキノワグマ6頭は有害駆除等で保護された野生個体である。ヒグマ21頭は同牧場内での出生個体であるが、コディアックヒグマとエゾヒグマの交雑の可能性が高い。